

／ 学校の授業でタブレットを使っています！ ／



6年生
立脇 さん

友達との意見交換や資料探しが簡単になったため、スムーズに課題を進められるようになりました。



6年生
南 さん

研究の作業を速くできるようになりました。今後は自分で考えたテーマでの研究にも挑戦したいです。



4年生
上田 さん

手書きの頃よりも図形が簡単に作れるので、ノートなどをきれいにまとめられるようになりました。



4年生
和木 さん

タブレットに書いた内容をそのままスクリーンに映し出せるので、発表がしやすくなりました。

【カメラ機能の活用】
タブレット導入後、多くの授業で活用されているのがカメラ機能です。



画面拡大や書き込み、図形の変形・移動などが可能となり、より深い学びを促進することができます。

を搭載しているため、校内のほとんどの場所でインターネットが使用できます。タブレットが手元にあれば、知りたいことをその場で調べられます。

また、タブレットにはカメラ機能やタッチペンで直接入力できる機能など、学習に効果的なシステムが多く搭載されています。これらの機能を使うことで、これまで多くの手間や時間を費やしてきたことを短時間で済ませることができ、学習にとって最も大切な「考える時間」を確保できます。



6年生が作成した平和新聞。タブレット導入により作業時間を大幅に短縮できた。

【グループ学習の充実】
タブレットはグループワークでも効果を発揮します。

グループで1つの画面を操作しながら意見交換や発表などの学習活動を行うことで、互いに学び合う活動が一層活発になり、思考力や表現力が育成されます。

さらに、先生の手元のタブレットで各グループの作業を把握できるため、よりスムーズな指導が可能になります。

例えば、理科の授業では、実験の様子を撮影し、その画像や動画を使って実験を再確認することで、より理解が深まり、分かりやすく発表することに繋がります。

カメラ機能の活用は、学びに新たな広がりをもたらします。その時、その瞬間を捉え、物事をより細かく正確に読み取ることで、より深い学びにつながります。

【プリント学習システムを導入】

子ども向け問題データベース「プリントひろば」を活用し、日々の授業や補充学習、家庭学習において、習熟度に合わせた課題プリントを選択して学習できます。

また、チェックシート「学びの地図」を活用し、学習の取組状況を確認することで、学習意欲を維持・向上させることができます。

32ページでは、授業でタブレットを活用する先生からのコメントを掲載しています。

文部科学省の調査では、小中学校の子どもの約4・5％に学習障害の疑いがあるとされています。中でも文字の読み書きに課題を持つ子どもたちや弱視の子どもたちにとって、UDフォントが有効と実証されています。また、UDフォントは読み書きに困難のない人にとっても読みやすく感じることから、学力や学習意欲の向上が期待できます。

「わかる」「できる」を実感する新しい学び ～市内全ての学校にタブレットを導入～



問・(市)学校教育課
・教育センター ☎83-2020

高 度情報化が進む現代、学校における教育も大きく様変わりしつつあります。

世界的にデジタル化が進む時代に求められるのは、「自ら考え、自ら判断し、自ら行動する」能力です。

このような能力を育成する一環として、三木市では、市内全ての小・中・特別支援学校へ計1、140台のタブレットの導入をはじめ、教育現場でのデジタル環境を整備しました。今年10月から各学校の授業で活用しており、学習効果や子どもたちの学ぶ意欲を高めながら、より「わかる」「できる」学びをめざしています。

今月号では、従来の授業の形にタブレットを活用することによる新たな教育の形について紹介します。

【タブレット導入のメリット】

タブレットは、デスクトップ型、ノート型パソコンと違い、いつでも、どこでも手軽に使えるところが最大の特徴です。

小型で持ちやすく、無線LAN

【兵庫県内初！ 全学校のタブレットにUDフォントを導入】

今回導入したタブレットには文字の形が分かりやすく、読みやすい「UD（ユニバーサルデザイン）フォント」を、県内の自治体で初めて採用しました。

このフォントは従来の書体よりも誤読が少ないように工夫されたものです。

